

- この検査の保険診療の適用は下記のとおりです。

①てんかん	難治性部分てんかんで外科的切除が必要とされる患者。
②心疾患	虚血性心疾患による心不全患者で、心筋組織のバイアビリティ診断。（他の検査、画像診断により病期診断および転移・再発の診断が確定できない場合に限る。）
③悪性腫瘍	早期胃がんを除き悪性リンパ腫を含む悪性腫瘍患者。（他の検査、画像診断により病期診断および転移・再発の診断が確定できない場合に限る。）

- 筋への集積を抑制するため、検査日の前日からは運動を回避させてください。
- 下痢のある場合には腸管集積の亢進があります。整腸後に予約を取ってください。便秘の場合には前日から下剤の服用は止めてください。
- 血糖値は 150mg/dl 以下を原則とします。200mg/dl を超えると著しい画質劣化を招く可能性があります。可能であれば、絶食等で低血糖化を図るなど可能な手段をとってください。
- 糖尿病治療中の患者様の場合には、朝食および糖尿病治療薬、インスリン投与は原則、中止していただきますが、絶食時の治療薬指示があれば、そちらを優先してください。
- 最低 20 分の安静呼吸下での静止が必要です。画像の位置的な連続性が乱れるほか、CTやPET画像の合成ができません。安静維持が無理な場合には適用外とさせていただきます。
- CT装置の約2倍長のドーム内に入ります。閉所恐怖症では適用外といたします。
- 診療額は全額負担の場合で約10万円です（約半額は薬剤費）。高額な検査ですので健康保険での支払い割合など考慮の上、ご説明ください。
- 保険診療の適用の有無、突然のキャンセルの回避など、患者様にはよくご説明ください。